

コープこうべ コミュニケーション レポート

2022

2021年度報告



INDEX

コーユーノ ノコノレか じじゅ
組合員や地域の皆さまとのコミュニケーションが
深まることを願い、作成したレポートです。
コープこうべの取り組みを「ターゲット2030」と
SDGs(持続可能な開発目標)を基調に編集しています。

CO·OP NEXT100の取り組み2
ターゲット20304
つながり6
健康12
環境14
あんしん18
ターゲット2030 × SDGs22
地区別 活動エリア
コープこうベグループの紹介

CO·OP NEXT100の取り組み

コープこうべのビジョン「ターゲット2030」づくりからスタートしたCO・OP NEXT100。 みんなが、みんなでつくる2030年の"ありたいまち・くらし"を実現するために、 「つながり・健康・環境・あんしん」の4つのテーマを大切にしながら、

記念企画やコロナ禍での活動・くらしのサポートを実施しました。

COOPINEXT

ANNIVERSARY 2021年4月



夢の商品アイデアコンテストから 商品デビュー (4月1日)



子どもたちに 絵本を贈ろう



地域団体に お米のお渡し



「もったいない大賞」受賞記念 オンラインイベント "「もったいない」が未来を変える"



オンラインで産地交流会



第101期通常総代会でのご報告& 記念品・冊子など

2019年から1万2300人の組合員・役職員の想いを 込めて策定した、ビジョン「ターゲット2030」。 通常総代会では、そのご報告とビジョンを表現する 100周年記念ソング「やさしさ つむいで」をお披露目し、 記念品と合わせて冊子を配付しました。



5月



7月

ターゲット2030宣言 (頴川理事)

7月11日、組合員のつどい「記念番組」を開催。 コロナ禍でもみんなでつながり、

交流したいとの想いで、8つの地区とオンラインで つなぎ、各地区の取り組みをリレー中継しました。

























誰もが安心してくらせるように、そして、 未来の子どもたちが笑顔であふれるように

私たちはこれからもやさしい心で 「コープのあるまち 協同のあるくらし」を めざし取り組みを進めます

第3回 「SDGs アクション フォーラム」

SDGsギフ



2月



やさしさつむいで 笑顔で未来へ



コーピーカードが誕生 (10月1日)





CO-OP NEXT100 開発商品 第2弾

わいわい 会議のようす 12月



コープこうべ第九コンサート 「やさしさ つむいで」 も合唱

11月



音楽でつながるを テーマに [MAIKO MUSIC JAMBOREE」を開催

COOO KODE



CO·OP NEXT100 開発商品デビュー

規格外野菜の有効利用、 地域の活性化、工場の

稼働促進などの課題を解決しようと、 生産者、取引先とともに開発。

「ほうれん草ちぎり」がデビューしました。



芦屋シーサイド テニスフェスタ







オンライン学習会・ イベント

10月

9月

奨学金制度を創設

次世代の若者の夢と 学びを応援!高校生を 対象とした奨学金制度を スタート。9月に店舗・ 宅配で集中募金を 実施しました。







健康づくりオンラインセミナー

コープこうべのビジョン

ターゲット2030

コープのあるまち

みんなが (で) できること

人と人とがやさしさで つながり、助け合える

わたしたちは、人と人との つながりを大切に、さまざまな資源を つなぎあわせることで、笑顔あふれる コミュニティづくりの一翼を担います。

- 助け合える「仕組み」や「機会」を 地域社会とともにつくる
- ② さまざまな資源をつなぐ
- 6 くらしのインフラとしての役割を担う

ありたいまち、くらし

つながり

人と人とが やさしさでつながり、 助け合える 「まち、くらし」

P06~P11

4つの

健康

健康で いきいきとした 毎日を送れる 「まち、くらし」

P12~P13

自然環境と共に生きる

わたしたちは、より良い利用と行動で、 豊かな自然を未来につないでいきます。

- より良い消費行動・運動につなげる 「消費のスタイリスト」を目指す
- 2 地域の資源を循環させる コーディネーターとなる
- ⑤ 防災力NO.1の地域づくりを推進する

つながり ター 20 環境

やさしさつむいで

協同のあるくらし

テーマ

ターゲット2030

2030年、私たちが暮らす地域はどうあってほしいか。 その中で、どんなくらしをしていたいか。 そんなことに1人ひとりが想いをはせ、 2030年のありたい姿やその実現に向けて、 私たちに何ができるかを示すビジョン。 2018年から職員・組合員・地域が一緒になって 策定を進め、100周年を迎えた2021年に確定・宣言。

環境

自然環境と 共に生きる 「まち、くらし」

P14~P17

あんしん

みんなが笑顔で、 安心できる 「まち、くらし」

P18~P21

健康でいきいきとした 毎日を送れる

わたしたちは、食とくらしの情報を正しく学び、 分かりやすく伝えることで、 誰もがいきいきと自分らしくくらせる場づくりを 行い、より良いくらしの選択肢を広げます。

- 笑顔あふれる食卓づくりを提案する
- ② 情報があふれる今だからこそ正直・誠実に 分かりやすいカタチで伝える
- ごだれもが利用しやすい 「場」づくりを すすめる

笑顔で未来へ

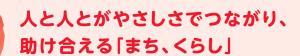
みんなが笑顔で、 安心できる

わたしたちは、一人ひとりの声や くらしから生まれた想いや願いを実現し、 平和でより良いくらしを追求します。

- 安心して子育てができるよう世代をこえて つながる場づくりを実現する
- 2 誰もが働きやすい社会づくりを推進する
- ❸世界平和を願う運動体として進む



「**やさしさ つむいで**」 ~100周年記念ソング~













- ●助け合える「仕組み」や「機会」を 地域社会とともにつくる
- 2 さまざまな資源をつなぐ
- Sくらしのインフラとしての役割を担う

高校生向けの

「コープこうべ奨学金制度」を

創設しました

コロナ禍で経済的格差がますます拡大してい ることを受け、次世代を担う若者のサポートとし て、「高校生向けの給付型奨学金制度」を創設し ました。

8月から奨学金制度の応募受付を行い、コープ こうべの活動エリアに居住する全57校、82人へ の給付を決定。11月から給付を開始しました。

9月に奨学金の原資となる集中募金を実施。店 舗・宅配の合計で約650万円の善意が寄せられま した。



コロナ禍での食料品を通じた 学生支援が進んでいます

新型コロナウイルスの影響で仕送りやアルバイト収入 が減って困窮する学牛を支援する取り組みとして、7月に 開催された「第2回食材提供会」に協力しました。西宮市 内の大学生が主体的に運営する「学生応援プロジェクト 『繋がり隊』|が実施した取り組みで、第2地区本部と西 宮市社会福祉協議会と関西学院同窓会が連携し、食材 を提供。2日間で550人にお米や缶詰、レトルトカレーな どを配布しました。



食材提供会のようす

「たすけタッチ^(*)」は、 実験地域での運用が進みました

神戸市垂水区の乙木小学校校区では、 第5地区本部が中心となって「たすけタ ッチ | の実験を進めており、手助けして ほしい組合員が13人、手助けができる



組合員が12人登録しています。「週2回のゴミ出し」の手 助けを中心に、組合員同士をマッチングする運用が広が りました。

※たすけタッチ

ゴミ出しなど、ちょっとした困りごとを手助けしてほしい組合員と、近く に住む手助けできる組合員をコープこうベアプリでつなぐ仕組み。



コープこうベアプリを活用し、 組合員同士の希望をマッチング

地域の方々とつながりながら 「つどい場」づくりを進めました

コープ西宮南(西宮市)では、地域の多様な方々とワークショップを重ね、コープのつどい場*「しましまひがしまち」がオープンしました。

コープデイズ神戸西(神戸市)では、11月の改装オープンに合わせて、つどい場がオープン。気楽に活動相談ができる常設の「つどい場カウンター」を設け、いつでも自由に立ち寄ることができる「はじまりのテラス」など、幅広いニーズに対応可能なつどい場運営により、バラエティ豊かな多世代をつなぐ取り組みが生まれています。

※コープのつどい場

地域に開かれた居場所。誰もが気軽に集まって、つながりを作ったり、くらしの課題を解決したり。みんなで作る地域活性化の拠点。



コープデイズ神戸西「コープのつどい場 神戸西」

組合員同士の交流や学習の場として、コープこうべの施設を活用

コープこうべ協同学苑(三木市)では、10月に子育てサークルと連携し、ハロウィンイベントを開催。合わせてコープカルチャー受講生による作品展や発表の場づくりを行い、約300人の参加がありました。

また、環境共生型農園「エコファーム」では、9月から10月に「さつまいもマイファームの収穫企画」、11月から12月にかけて、だいこん・かぶなどを収穫する「秋の大収穫祭」を開催、多くの家族連れで賑わいました。



NPO法人ほっぺの「秋祭り&HappyHalloween」イベント

「お米を贈ろう助け合い募金」を 通じた食の支援を行いました

組合員から寄せられた「お米を贈ろう助け合い募金」 (募金額:1027万1315円)を原資にお米を調達し、生活 困窮者支援団体など、のべ295団体に約26トンを寄贈し ました。

お米の寄贈をきっかけに、店舗や協同購入センターなどコープこうべ事業所と、生活困窮者支援団体や子ども 食堂運営団体などとの新たな連携の取り組みが広がっています。



「東灘こどもカフェ」へお米をお届けしました

「大庄元気むら」で、組合員主体の 活動が進んでいます

さまざまな多世代交流イベントを運営委員会や大庄 コープ委員会が中心となって企画し、開催しました。12月、フェイスブックでつながる人たちが自由に企画・参加する「ごちゃまぜマルシェ」には、約200人の方々が集まり、交流しました。

また、スマートフォンを使って地図上にGPSでメッセージを描く「GPSプロギング(ゴミ拾い)」や、近隣の尼崎西高校とともに「2021★文化祭」を開催するなど、地域とのふれあいと交流が深まっています。



「2021★文化祭」のようす

地域の力で地域の課題を 解決する取り組みが広がっています

コープ箕面中央(箕面市)では「サニタリードライブ」を 開始。食料品の他に不要となった大人用おむつや生理用 品も回収して、生活困窮者支援につなげる取り組みです。

また、くらしに困窮する大学生などにも社会福祉協議 会を通じてお米やサニタリー用品を提供しました。さら に、コープ大久保(明石市)では、使わなくなった子ども服 やおもちゃを先輩ママ・パパから次の世代のママ・パパへ とつなぐ「おさがり譲渡会」を定期的に開催。地域の多く の方が参加する取り組みに広がっています。



おさがり譲渡会の会場のようす

オンラインでの コミュニケーションから 声を集めています

「コープこうベアプリ」は累計50万ダウンロードを超え、 『めーむ』の注文以外にも、毎月約1000人から投票や商 品コメントの投稿が寄せられるようになりました。投票 結果や商品へのご要望は、今後の企画や商品提案へ活 かします。

また、商品の美味しい食べ方などのコメントは『めー む』紙面で紹介するなど、活用を進めています。



『めーむ』紙面での紹介例

地域との対話の出発点 「地域つながるミーティング」を開始しました

2022年2月から「地域つながるミーティング」がスター トしました。ミーティングは、組合員と地域の多様な活動 者との出会いと共有を目的に、コープサークルや地域コ ープ委員会のメンバーをはじめ、地域の活動団体に参加 を呼びかけました。

2月から4月末にかけて、のべ105の事業所で開催し、 1351人が参加しました。「地域の困りごと」や「地域で一 緒にできること | 「グループ同士がよりつながるために |



コープ大久保の話し合いのようす

など、各事業所で設定したテーマに沿って、参加者同士 がともにできることについて話し合いました。

地域つながるミーティングは、今後も夏と冬の年2回 以上開催する予定です。



地域つながるミーティングのイメージ図

行政が行う子育て支援の 取り組みに協力しています

明石市からの受託事業「おむつ定期便**」では2313軒、たつの市からの受託事業「たつの市はつらつベビーまごころ便**2」では59軒のご家庭を訪問。家庭に赤ちゃん用品をお届けし、親子の見守りを行っています。

また、子育でに関する悩みやお困りごとの相談受付に加え、希望者には宅配や共済の案内を行っています。

10月より、新たに加東市からの受託事業「かとうすこやか定期便」を開始しました。今後も、地域と一緒になって子育て支援の輪を広げていきます。



加東市の「かとうすこやか定期便」

※1 おむつ定期便0歳児を持つ家庭に月1回おむつなど赤ちゃん用品を無料配布す

るサービス。

※2 たつの市はつらつ ベビーまごころ便 0歳児を持つ家庭を対 象に生後2カ月目と5 カ月目におむつや離乳 食など育児用品をお 届けするサービス。

学童保育室の おやつ購入業務を受託しました

箕面市学童保育室におけるおやつ購入の業務受託では、お届けするおやつを『めーむ』の商品から選定し、月に一度、おやつメニューを箕面市教育委員会に提案しています。メニューを参考にご注文いただき、コープこうべが各施設へお届けしています。



学童保育室に商品をお届けしました

つながるマルシェ^(※)の 取り組みを継続しています

福祉作業所の商品は、心身に障がいを持つ人たちが生産・販売しており、地域との交流ややりがいにつながる活動です。

その福祉作業所の手作り品などをコープこうべの店内で販売する「つながるマルシェ」を2月から3月にかけて45店舗で実施。2021年度より、大阪北地区エリアでも取り組みがはじまりました。また、コープ横尾(神戸市)では、「すまるしぇ」(須磨区自立支援協議会と連携)が定期開催されるなど、取り組みが各地で広がっています。

※つながるマルシェ

新型コロナウイルスの影響で商品の販売機会が減っている福祉作業所 に店舗のスペースを提供し、販売会を開催する取り組み。



つながるマルシェのようす

子ども食堂・コミュニティ食堂の 運営団体との顔の見える 関係づくりを進めています

「姫路青山コープのつどい場」にて、NPO法人フードバンクはりまや子ども食堂運営団体と、名古屋市内の子ども食堂関連団体とのオンラインでのネットワーク会を開催しました。40人が参加し、運営のノウハウや悩みの共有など情報交換を行いました。

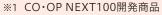
また、フードバンクはりまへの配送車両の提供を行うなど、生活困窮者を支援する団体とのさらなる連携強化を進めています。



フードバンクはりまに配送車両を提供

「CO·OP NEXT100開発商品(*1)」の供給を開始しました

2021年度より「コープ商品わいわい会議**2」の組合員に商品仕様やパッケージコピーなどの企画に関わっていただきながら、産地や地域の取引先の課題を解決する「CO・OP NEXT100開発商品」の取り組みがスタートしました。第1弾「ほうれん草ちぎり」、第2弾「ひね鶏チャーシュー」に加え、2月には第3弾として、地元兵庫県神河町のコロナ禍で余剰となったゆず果汁を使用した「サンドロール」「クリームパン」「どら焼き」がデビューしました。また、いかなごの漁獲量が少なくなり「くぎ煮」を炊く機会が減っていることに対し、佃煮を作る文化の継承を目的に「佃煮用ちりめん」を開発しました。産地からも喜びや感謝の声を多くいただいています。



規格外原材料の有効利用、地域の活性化、工場の稼働促進など、地域の課題を迅速に解決するために、コープこうべと生産者、取引先が協同で開発を進める商品。

※2 コープ商品わいわい会議

組合員が日頃の生活実感を元に本音の意見を出し合い、今後の商品の開発や改善に組合員の声を生かす場。







買い物支援の取り組みを 拡大しました

買いもん行こカーは、コープ西宮南(7月から)、コープ西神(11月から)、コープ志染(1月から)、コープ龍野(3月から)での運行を開始し、3月末時点の登録者数は3039人となりました。コープこうべ全体では、30店舗にて27台が運行しています。

また、移動店舗では、地域とのつながりの維持・強化に向けて、地域団体の会議などに参加し意見交換を進めています。



買いもん行こカー乗降時のようす

若者応援ポータルサイト 「konoyubi★」を開設しました

若い世代の活動参加が各地区、地域で広がっています。若者の地域活動を応援することを目的に、1月「konoyubi★」を開設しました。高校生や大学生向けのイベント・学習会を紹介したり、学生が立ち上げたプロジェクトの仲間づくりを応援しています。

2022年度、サイトの活用を強化し、若い世代との接点を増やすとともに、若者の活躍を応援する取り組みをさらに広げます。



兵庫県立西宮今津高等学校 ハザードマップウォーク

SDGsアクションフォーラムを開催しました

2月26日(土)、「わたしのSDGsアクションフォーラム」をオンラインにて開催しました。フォーラム前半では、持続可能な地域の未来づくりに取り組んでいる団体や個人から活動に関する「画像・紹介文」を募集し、表彰する「わたしのSDGsアクションコンテスト」に応募いただいた総計36件の多彩な活動事例の中から、書類選考を通過された5組による最終選考会を実施しました。

総計60人の一般視聴者と審査員によるオンライン投票の結果、「社会福祉法人あまーち」がグランプリに輝きました。利用者の皆さんが取り組む「SDGsギフト」では、「ミツロウラップ」や環境に配慮した商品をセットにしたギフトを企画、販売しており、これまでの2年間の取り組みを発表しました。準グランプリを受賞したのは、兵庫県立北須磨高等学校の皆さんが取り組む「服のカプロジェクト」。地域や校内から集めた子ども服を難民の子どもたちに届けています。

また、フォーラム後半では、NPO法人「YouMe Nepal」 代表のシャラド・ライさんが自身の体験やネパールの社会・教育の現状、未来を見据えた事業展開などについて 講演しました。

今後は、コープこうベアプリのルーム機能*を利用し、 皆さまが取り組むSDGsアクションをよりシェアしやす くしていきます。

※アプリホーム⇒「コープTOUCH」⇒「ルーム」⇒
「みんなでSDGs アクション!!」の順にタップしてください。



NPO法人「YouMe Nepal」代表の シャラド・ライさん







グランプリ受賞を喜ぶ「あまーち」の皆さん

地域包括連携協定など、行政、 諸団体との協定締結を進めました

各地区本部が中心となり、行政や地域諸団体と連携した地域課題解決、まちづくりの取り組みを進めています。 2021年度は、新たに、加古川市(10月)、宝塚市(1月)、たつの市(3月)と地域包括連携協定を締結。

また5月には、「丹波篠山市における買物困難者等への支援に関する協定」を締結しました。

宝塚市と生活協同組合コープこうべとの 包括連携協定締結式



宝塚市と地域包括連携協定を締結

「語り手学習会」を開催しました

「語り手学習会」とは、コープ商品やくらしの課題について組合員と職員が一緒に学習し、学んだことを周囲へ伝える「語り手」になるための学習会です。

2021年度は「コアノンロールの歴史とエシカル」「子どもの未来を考える」など7つのテーマで開催し、計91人が講座を修了しました。修了者は「語り手」として、2月に開催されたラブコープフェスタで発表したり、地域やコープ委員会などで講師をするなど、学んだことを自らの言葉で地域に広げています。



「協同組合」をテーマとした語り手学習会

健康でいきいきとした 毎日を送れる「まち、くらし」











- **○**笑顔あふれる食卓づくりを提案する
- ②情報があふれる今だからこそ正直・誠実に 分かりやすいカタチで伝える
- ⑤だれもが利用しやすい 「場」づくりをすすめる

コープこうべ100周年記念 「健康づくりオンラインセミナー」を開催しました

9月19日(日)、北京五輪4×100mリレー銀メダリストの朝原 宜治さんをお招きし「『つながり』が生みだすチカラ」をテーマに 健康づくりオンラインセミナーを開催しました。

ナビゲーターは、京都大学大学院医学研究科教授の近藤尚己 さんと、フリーアナウンサーの八木早希さんが担当。「つながり」 を大切にしながら活動しているゲストの方々と、どのように「つ ながり |を広げていくのか、どのように健康づくり を進めていくのかを話し合いました。

詳しくはQRコード®よりご覧ください **→** ■ **・**



西宮ストークスの選手と一緒に お家で簡単トレーニング!

今回で2回目となる、夏休 みのお楽しみ企画。兵庫県 プロバスケットボールクラ ブ西宮ストークスの背番号 10番、渡邊翔太選手を講師 に迎え、オンラインで「お家 で簡単トレーニング |を開 催しました。





オンラインでの健康づくり企画

ひょうごまるごと健康チャレンジ 2021を開催しました

2018年から兵庫県生協連、兵庫県の8つの医療生協 とともに実施している企画。「食事」「運動」「睡眠(リフレ ッシュ) |の健康づくり三大要素に、正しい「生活習慣 |を プラスした4つのコースのメニューの中からチャレンジ 項目を選び、各自で30回取り組むことで、健康習慣づく りをめざします。コロナ禍で企画の告知が限られる中、約 4400人の参加がありました。



ひょうごまるごと 健康チャレンジ

はかるたいせつプロジェクト「第5回 商品検査の日のつどい」開催しました

今、ゲノム編集など、さまざまな食の新しい技術が生まれています。ゲノム編集食品について、疑問に思っていることや、「リスク」と感じていることを切り口に、ゲストの大阪府立大学山口夕先生とラジオ関西アナウンサー三上公也さんとの対話形式でわかりやすくお届けしました。

視聴後のアンケートでは、「ゲノム編集食品について正しい知識を得ることができた」「『ゲノム編集』の技術は安全なのか心配だったが、話を聞いて自分が誤解していることがわかった」「知らなくても困らないけれど、学ぶことによって知識が増し役立つ内容だった」などのお声をいただきました。

「商品検査の日のつどい」は、「はかるたいせつ」動画チャンネルでご覧いただけます。 →



第5回商品検査の日のつどいのようす

商品検査センターの取り組み

はかるたいせつプロジェクト「第3回 BDHQオンライン調査」を開催しました

自分の食習慣を「科学的」に見直すことを目的に、東京大学の佐々木敏先生が考案された食習慣調査票BDHQを活用した学習を実施。9月にオンラインでの調査を実施し、希望者には調査結果の読み解き学習会を実施しました。

12の栄養素のうち、注目の「食塩」は、ほとんどの方が「摂り過ぎ」という傾向が見られました。

食塩を構成する「ナトリウム」は、日本人にとって1日のふつうの食事をとっていれば、不足することがない栄養素です。むしろ、過剰摂取によって高血圧や胃がんのリスクが高まると言われています。日頃から、なるべく食塩を節約して少なく使う「節塩」を心がけましょう!

詳しくは、商品検査センターの広報誌「Hakaru(はかる)4号」をご覧ください。→





86



https://kensa.coop-kobe.net

コープこうべ商品検査センター



商品検査センターでは関連部署とともに、商品の品質に関すること、生協内の食品衛生に関すること、商品についての科学的知識の普及に関すること、組合員からの商品お申し出の助言や提言に関することについて、検査、調査、広報などを通して取り組んでいます。

2021年度は、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の定着を推進や、"健康づくり"の普及啓発、"食の安全"に関するリスクコミュニケーションを諸団体と連携し、組合員とともに推進しました。



■2021年度実績

栄養成分表示作成

検査分野	検査項目	検査件数
微生物	一般生菌数、大腸菌(群)、黄色ブドウ球菌など	4,018
残留農薬	一斉分析約440農薬	259
動物用医薬品	抗生物質、合成抗菌剤	31
食品添加物	保存料、着色料、発色剤、漂白剤など	27
品質管理項目	ヒスタミン、油脂の酸価、過酸化物価など	29
アレルゲン	食品工場生産品のアレルゲン(乳成分・小麦など)	31
重金属	米のカドミウム	44
放射性物質	セシウム134、セシウム137	88
異臭	お申し出品の石油臭、薬品臭などの原因物質	111
異物	お申し出品のプラスチック、金属、鉱物など	1,121
	合 計	5,759
調査など	内容	件数
商品お申し出調査	お申し出品の調査・回答書作成	6,511

コープスの栄養成分表示作成

イベント名	開催件数 参加人数
学習会 職員学習会、食の安全学校など	9件 150人

※新型コロナウイルスの影響で、 通常の組合員の見学は中止いたしました。



自然環境と共に生きる 「まち、くらし」





気候変動











- **①**より良い消費行動・運動につなげる 「消費のスタイリスト」を目指す
- ②地域の資源を循環させるコーディネーターとなる
- ⑤防災力NO.1の地域づくりを推進する

環境配慮型モデル店舗 コープ西宮南オープン

6月に移転オープンしたコープ西宮南(西宮市) では、自家発電・自家消費型太陽光パネルの設置 や海洋プラスチック製「買い物かご」の導入、「寄付 機能付きペットボトル回収機」の設置、ノンフロン 冷蔵・冷凍ケースの設置など、持続可能な社会の実 現に向けたさまざまな取り組みを進めています。

その他の取り組み

- ●バイオマスプラスチック容器の導入
- ●ノントレー商品(畜産)の導入
- ●店舗から出る食品残さの堆肥化



フードドライブ (※)の取り組みを拡大しました

4月よりフードドライブの常時取り組み店舗をコープ ミニを除く全店(コープミニルミナス箕面では実施)に拡 大。食品ロス削減につなげるとともに、フードバンクや地 域諸団体への提供を通して、食料支援を必要とする方た ちの支援につなげています。

9月には全ての店舗で3日間、全ての宅配センターで 2週間の集中受付キャンペーンを開催し、約14トンの食 品を回収しました。



宅配での集中受付キャンペーン

また1月にはコープ北口食彩館(西宮市)にて兵庫県 主催の「ひょうごフードドライブ運動」に協力し、よしもと 住みます芸人「モンスーン」のお二人によるフードドライ ブの呼びかけや漫才を行いました。

※フードドライブ

家庭の余剰食品を、店舗などに持ち寄り、フードバンクなどに寄付する 取り組み。



よしもと住みます芸人「モンスーン」の フードドライブの呼びかけ(コープ北口食彩館にて)

プラスチック削減、循環型社会の実現に向けた取り組みを推進

コープ龍野「プラエコデー」開催

11月、コープ龍野(たつの市)では、地域NPO法人と 地元小学校との共催で「プラエコデー」を開催しました。 自宅からバラ売り商品を入れる容器を持参しての買い物 を促す取り組みで、小学生が事前にプラスチック問題な どについて学習。その学習成果を来店組合員に発表しな がら、取り組みへの参加を呼びかけ、生鮮品のトレーや 中敷スポンジ、ラップなどのプラスチックごみの削減につ ながりました。

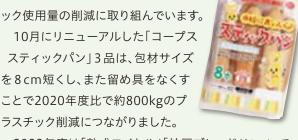


小学生による呼びかけ

商品パッケージ簡素化でプラ削減

六甲アイランド食品工場では、商品パ

ッケージを簡素化することでプラスチ ック使用量の削減に取り組んでいます。 10月にリニューアルした「コープス スティックパン | 3 品は、包材サイズ を8cm短くし、また留め具をなくす ことで2020年度比で約800kgのプ



2022年度は「熟成ロイヤル」「神戸ブレッド」について、 袋の厚みを薄くすることで使用量削減(年間約1900kg 削減)に取り組みます。

プラ製のスプーンやストローの 提供を中止しました

2022年4月1日より施行 した「プラスチック資源循環 促進法」に伴い、すべての店 舗でプラスチック製のスプー ンやストローの提供を中止。



レジやサービスコーナーに 木製スプーンと紙ストロー お申し出いただいた場合のみ、木製または紙製のスプー ン、紙製のストローを提供する運用に変更し、年間約 200kgのプラスチック削減に取り組みます。

詰め替えのり商品で プラスチック約95%削減

プライベートブランド商品の「コ ープス兵庫県産味のり | の詰め替 え用タイプを開発。卓上ボトルと比 ベプラスチックを約95%削減する ことができました。年間で約9トン



弱のプラスチックごみの削減を見込んでいます。

これまで詰め替え用は卓上タイプと比べてボリューム 感不足もあり、利用が伸びませんでしたが、昨今のエシカ ル消費やSDGsへの関心の高まりから、詰め替え用タイ プが「プラスチック使用量の削減」につながる商品として 認知され、利用が広がってきています。

東播磨地域のペットボトル水平リサイクルの 取り組みに参加しました

12月1日から、東播磨2市2町(高砂市、加古川市、稲 美町、播磨町)で取り組んでいる「ペットボトルの『ボトル to ボトル』水平リサイクル事業 | に参加しました。東播磨 地域の6店舗(コープ高砂、コープ神吉、コープ東加古川、 コープ稲美、コープ播磨、コープミニ中津)で回収したペ ットボトルの相当量を同事業に提供することで、持続可 能な資源循環型社会の実現に貢献しました。

洗剤やシャンプーなどの使用済み つめかえパックをリサイクル (フィルムtoフィルム)

10月1日より神戸市内の33店舗で、洗剤やシャンプー などの使用済みつめかえパックの回収を開始しました。 つめかえパックは、プラスチックボトルなどの削減に大 きく貢献する一方で、さまざまな特性を持つ多層構造の

フィルムのため、リサイク ルには不向きな素材です。 このプロジェクトは、行政 (神戸市)、小売、日用品メ ーカー、リサイクラーが協 働することで、もう一度つ めかえパックへのリサイ クル(フィルムtoフィル ム)をめざす、全国に先駆 けた取り組みです。



つめかえパックの回収ボックス

環境の取り組みについての 学習会を開催しました

5月8日(土)、2020年12月に受賞した第8回「食品産業もったいない大賞」農林水産大臣賞の受賞記念オンラインイベントを開催。食品口ス問題ジャーナリスト・栄養学博士の井出留美さんによる基調講演や地域団体による活動事例報告、コープこうべの受賞報告を実施しました。

また、8月6日(金)にコープ西宮南(西宮市)のオンライン見学会を開催し、45人の組合員が参加。各部門担当者が、プラスチック使用量削減やリサイクル回収の取り組みなど、環境配慮の取り組み事例を紹介しました。



オンライン見学会で店内を撮影するようす

コープこうべ環境基金オンライン フォーラムを開催しました

11月13日(土)、コープこうべ環境基金オンラインフォーラムを開催しました。当日は気象予報士・防災士の正木明さんの基調講演をはじめ、助成団体の「高砂海浜公園海辺の保全集いの会」代表の吉政静夫さんの事例発表や参加者同士の交流など、コープこうべ環境基金および助成団体の取り組みを知る機会となりました。



「高砂海浜公園海辺の保全集いの会」代表の 吉政静夫さん(右側)の事例発表

「親子でつながる! コープのリサイクルセンター オンライン見学会」を開催しました

8月27日(金)に開催した「親子でつながる!コープのリサイクルセンターオンライン見学会」では、親子を中心に112人が参加。鳴尾浜リサイクルセンターと玉津リサイクルセンターをオンラインで見学し、容器包装や紙資源のリサイクルについて学習しました。



障がいのあるスタッフによる紙パックの圧縮作業のようす

地域の資源を活用した 新たな再エネ発電所の開発と 電源調達を進めました

「でんきの地産地消」の拡大に向け、新たに太陽光発電所(6カ所)からの調達を開始しました。

また、コープでんきの電源産地として初となる小水力発電「水車新田小水力発電所(神戸市灘区)」からの電源調達を6月より開始しました。

さらにコープ西宮南(西宮市)、コープ大久保(明石市)、 コープ上郡(赤穂郡)、コープ安倉(宝塚市)の4店舗に、 自家消費型太陽光発電設備を設置しました。



小水力発電所の取水口

「みんなの牧♡里プロジェクト」の 活動の輪が広がっています

大阪北地区では、「感染予防対策」を工夫しながら、「みんなの 牧♡里プロジェクト|の定期的な取り組みを行いました。

また、新たに3つの地域コープ委員会が牧里での活動を開始 するなど、参加の輪が広がっています。これらの継続的な取り組 みが評価され、大阪府知事から感謝状が贈呈されました。



大阪府知事から感謝状をいただきました

エコファーム回収店舗を拡大しました

エコファームでは、店舗で発生した加工くずや廃棄食品を回収・ 堆肥化し、その堆肥で野菜を育てています。20年以上前から続くこ の取り組みは、資源循環型社会の実現が求められている今日、改 めて重要性が増しています。

2021年度からは、回収店舗を10店舗拡大(計49店舗)しました。 引き続き、食品廃棄物の削減・食品リサイクル率の向上をめざします。



「コープでんき動画」の 配信を開始しました

コープでんきの地産地消の取り組みを紹介する「コープでんき 動画」の配信を行い、2000人を超える方に視聴いただきました。

今後は、コープでんきの産地である再エネ発電所を オンラインで見学する学習会の開催を予定しています。



コープでんきの動画はこちら → □乙

▼環境チャレンジ目標 🖊



目標年度:2030年度

2030年に向けた環境チャレンジ目標を 2018年度に策定し、取り組みを推進しています。



事業活動における CO2排出量を半減!

2050年度には、排出

- ●設備更新/車両更新
- ●省エネチューニング
- 太陽光自家発電·自家消費 ●電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替





事業活動における 食品廃棄物を半減!

- ●店舗廃棄重量削減
- ●フードバンクなどへの食品提供拡大
- ●食品リサイクル率向上





事業活動における プラスチック使用量を 25%削減!

重点施策

- ●プラスチック製容器包装の削減
- 再生プラやバイオプラなど 代替素材への切り替え推進
- ■プラ削減につながる商品・ サービスの開発・供給促進





環境に配慮したエシカルな 商品やサービスの 開発•供給推進!

- ●環境配慮型のエシカルな 商品・サービスの開発・供給推進
- ●地産地消の推進





組合員とともに エシカル消費を拡大!

- エシカルな商品、エシカルなくらしの あり方に関する学習・広報の推進
- ●組合員とともにエシカル消費を拡大















あんしん

- ・安心して子育てができるよう世代をこえて つながる場づくりを実現する
- ②誰もが働きやすい社会づくりを推進する
- ❸世界平和を願う運動体として進む

コミュニティーの場としての

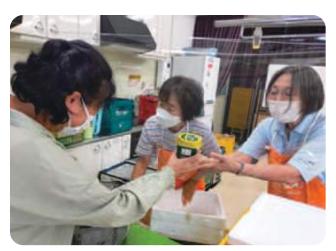
新しい宅配の拠点づくりを

進めました

行政や地域、店舗、宅配、地区本部などが連携し、コミュニティー機能を持つ新たな拠点づくりを進めました。

9月には加古川市のシルバー人材センターと協働し、コープ神吉の「めーむひろば」の商品受け渡し業務を有償ボランティアへ委託する取り組みが始まりました。今後は、「めーむひろば」を中心にしながら、さまざまなコミュニティーの場となるモデル化を進めていきます。

1月には、神河町で障がい者の生活支援や就労支援などを行う「多機能型事業所 ひと花」との協働が始まりました。コープこうべが宅配商品をひと花に配達し、ひと花の利用者が、買い物が困難な高齢の組合員宅に見守りを兼ねて商品をお届けしています。訪問先の組合員は独居の方も多く、ケアマネジャーやヘルパー、地域の民生委員などにも協力いただいています。組合員から訪問の際に「ありがとう」の声をかけてもらうなど、利用者のやりがいにもつながる取り組みとなっています。



コープ神吉「めーむひろば」商品受け渡し



「ひと花」利用者による商品お届けのようす



「ひと花」利用者による商品の仕分け



コープ神吉「めーむひろば」商品の仕分け

「絵本」を通じて平和の取り組みを 進めました

4月から5月にかけて、「絵本」を通じて、子どもたちに 平和の大切さを感じて明るい未来につなげてほしいという願いを込め、おすすめ絵本の紹介コメントを公募しました。553人から692通のコメントが集まり、497作品が 推薦絵本に。推薦絵本の中から、合計800冊を地域の団体や施設に寄贈しました。

また、3月26日(土)には、楠公会館で絵本講演会「絵本でこどもたちにつたえたいこと」を開催。絵本作家の長谷川義史さんが絵本の読み聞かせやウクレレでの弾き語りなど、「平和」へのメッセージをわかりやすく伝えました。いずれも「平和のカンパ」を活用しました。



夕食サポート[まいくる]の 利用食数が過去最高となりました

利用食数が過去最高の9400食となりました。季節や旬を感じられる新メニューを取り入れたことにより、利用の定着が進みました。将来的な需要の高まりを見据え、利用の広がりや食数の伸長に対応が可能な配送体制の整備、システム改修などの検討を進めました。

また、コープこうべ100周年・まいくる10周年を記念して、まいくる総選挙やまいくる通信などの参加型企画を実施し、利用者と近い関係づくりを進めました。



おかず盛りコースの一例

「ハート基金 (コープこうべ災害緊急支援基金)」 から拠出を行いました

7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害の復旧支援として、静岡県社会福祉協議会、静岡県ボランティア協会に併せて50万円を拠出しました。

また、8月に発生した九州北部の大雨災害の復旧支援として、佐賀県社会福祉協議会(佐賀県民災害ボランティアセンター)に50万円を拠出しました。



熱海土石流災害の復旧支援のようす(静岡県社協より提供)

「あんしん宅配」の実現に向けた 取り組みを進めました

4月より、事故につながりやすい行動を検知する機能を搭載した新たなドライブレコーダーを宅配事業の全車両に導入しました。これにより、即時の状況確認やタイムリーな指導が可能となるなど、交通事故を未然に防止する取り組みを進めています。

また、安全運転研修を開催し、事故事例を踏まえた、安全確認手順とその重要性の共有化を行いました。



安全運転研修のようす

世代や地域を問わず交流できる場を「コープこうベアプリ」に開設しました

4月に、子育て世代の交流ができるオンラインコミュニティのサイトを設置。子育ての悩みや日常の困りごとなどを中心に約200人が参加し、投稿数はのべ1200件以上となりました。アプリを通じた組合員同士のつながりが広がりました。





アプリ上で気軽に情報交換

就労・自立支援をサポート

障がいがあったり、社会参加しづらかったりする人たちの就労・自立支援の取り組みをNPO法人と連携して進めています。コープ宝塚(宝塚市)や大阪北地区内の店舗・宅配業務の一部を社会参加の機会として活用いただいています。さらに、宝塚市のコロナ濃厚接触者に対する自宅待機要請に伴う生活支援物資の提供を請け負っており、配送作業の一部であるピッキングを生きづらさを抱える若者たちの就労体験の場として提供しています。



就労体験のピッキング作業のようす

消費者トラブル防止学習会を 実施しました

2月11日(金)にNPO法人C・キッズ・ネットワーク理事長の大森節子さんを講師に迎え、「18歳はもうおとな~被害者にも加害者にもならないために~」をテーマに、オンラインセミナーを開催しました。

2022年4月から20歳から18歳に成年年齢が引き下げられるのを受け、どういったことが起こるのか、トラブルの内容と注意点を具体的に解説。最後に被害にあってもあきらめずに「消費生活センター」へ相談するようにアドバイスをされました。



講師の大森節子さん

平和学習会を開催しました

1月、核兵器廃絶国際 キャンペーン(ICAN) 会長兼国際運営委員の 川崎哲さんを迎え、核 兵器の開発、製造、保有、 使用を禁じる初の「核 兵器禁止条約」発効か ら1年を経た現状や課 題について学習会を開 催しました。「人間の生



講師の川崎哲さん

存を脅かす脅威のうち、核だけが人為的なもの、きっと対処できるはず」と訴えました。

また、芦屋市在住の高校生が集まって活動している「あしや部」が、「平和」についてさまざまな視点から学習会を企画・開催。第1回目は、戦争体験者の話を聞きました。 学習会は3回開催され、若い世代が「平和」を考える機会になりました。

近隣事業者と連携しながら 利用者拡大に取り組んでいます

福祉事業では、新型コロナウイルスの感染症対策を 継続して実施しながら、利用者の自立支援・重度化防止 を目的とするコープこうべの基本ケアの浸透に向けて、 定例会議などで介護技術研修を取り入れた実践と振り 返りを行いました。

また、地域包括ケアシステムの観点から近隣の医療 機関や他事業所と連携をすることで、利用者のくらしの 安心を支える取り組みが進みました。



会話をしながら利用者の健康チェック

組合員ニーズに対応した サービスの開発・見直しを 進めました

クレリ案内センターでは、要望の 多い小規模な家族葬プランをクレリ 葬として導入するための検討・協議 を進めました。

2022年4月から導入する新しい 家族葬プランの開発と合わせてパ ンフレットやホームページの修正、 葬祭ガイドブックの作成など準備 を進めました。





クレリ案内センターホームページ

「どんぐりっこ すみよし」が 開園しました

4月に、コープこうべでは2つ目となる認可保育園「どんぐりっこ すみよし」を開園しました。

園内で調理した給食を通して食育を行うなど、子ども たちがのびのびと安心できる環境づくりを進めています。





入園式のようす

兵庫県ユニセフ協会が 20周年のイベントを実施しました

兵庫県ユニセフ協会(2002年設立)では、設立20周年を迎え、2月にはフォトジャーナリストの安田菜津紀さんを迎え記念講演会を開催しました。また3月には第20回「ユニセフのつどい」を開催し、20年を振り返る動画上映や浜田進士さん(子どもの権利条約総合研究所関西事務所長他)の講演会を開催。「子どもの権利の主体は子どもであり、子どもに聴くことが一番」との呼びかけがありました。またユニーズ(学生ボランティア)のOBと現役高校生が進行を務める中、ミュージシャンの大西匡哉さんによるケニア伝統太鼓「ンゴマ」の演奏で大いに盛り上がるなど、次世代へつながる感謝の一日となりました。



第20回「ユニセフのつどい」

ターゲット 2030 SDGs

「生協の父」とも呼ばれる賀川豊彦の指導のもと、 コープこうべの前身となる2つの購買組合 (「神戸購買組合」「灘購買組合」)が誕生したのは 今から100年前のこと。

これまで「愛と協同」の精神を原点に、組合員が 心と力を寄せ合い、くらしの安心をつむいできました。 創立100周年を機に、コープこうべは次の100年を 見据えた2030年ビジョン「ターゲット2030」を策定しました。 「誰一人取り残さない」社会の実現を掲げるSDGsの考え方に共鳴しつつ、

2030年のありたい社会の実現に向け、取り組みを進めます。

SDGS (持続可能な開発目標)とは…

2015年9月、ニューヨーク国連本部におい て、「国連持続可能な開発サミット」が開催 され、150を超える加盟国首脳の参加のも と、その成果文書として、「我々の世界を変 革する、持続可能な開発のための2030ア ジェンダ」が採択されました。そこに盛り込 まれているのが、"誰一人取り残さない"社 会の実現に向けた、世界を変えるための17 の目標「SDGs(エスディージーズ)」。途上 国も先進国も含めた世界中の一人ひとりに 関わる取り組みで、2016年1月から実施が 始まっています。

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS 1 貧困を なくそう







10 人や国の不平等







⋒₩₩₩

13 気候変動に 具体的な対策を







10 人や国の不平等 をなくそう

16 平和と公正を すべての人に









4 質の高い教育を

8 働きがいも 経済成長も







8

2030年のありたいまち、くらし/みんなが(で)できること 対応する主なSDGs 共通するSDGs 人と人とがやさしさでつながり、助け合える 貧困 まちづくり 生産・消費 12 つくる責任 つかう責任 ●助け合える「仕組み」や「機会」を地域社会とともにつくる ●さまざまな資源をつなぐ ŇĸŔŔŧĬ ●くらしのインフラとしての役割を担う 健康でいきいきとした毎日を送れる 飢餓 健康と福祉 まちづくり 生産・消費 ●笑顔あふれる食卓づくりを提案する 3 すべての人に 健康と揺社を 12 つくる責任 つかう責任 健康 ●情報があふれる今だからこそ正直・誠実に -⁄η/•̀ 分かりやすいカタチで伝える パートナーシップ ●だれもが利用しやすい「場」づくりをすすめる 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 自然環境と共に生きる 海の豊かさ エネルギー 気候変動 陸の豊かさ ●より良い消費行動・運動につなげる 13 気候変動に 現体的な対策を 14 海の豊かさる 15 株の豊かさ 環境 「消費のスタイリスト」を目指す -0 ●地域の資源を循環させるコーディネーターとなる ●防災力NO.1の地域づくりを推進する みんなが笑顔で、安心できる 成長・雇用 人権·平等 平和 教育

●安心して子育てができるよう世代をこえてつながる

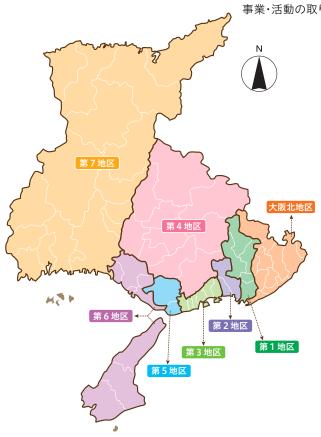
●誰もが働きやすい社会づくりを推進する ●世界平和を願う運動体として進む

場づくりを実現する

あんしん

地区別 活動エリア

コープこうべでは、活動エリアを8つに区分し、活動エリアごとに地区本部を 設置しています。各地区本部では、地域のニーズをよりきめ細かく把握して 事業・活動の取り組みを推進し、行政や地域団体との連携・協力を強めています。



大阪北地区

大阪市(西淀川区、東淀川区、淀川区)、 豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、 箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

第1地区

尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、 猪名川町

第2地区

西宮市、芦屋市

第3地区

神戸市(東灘区、灘区、兵庫区、長田区、 須磨区、中央区)

神戸市(北区)、西脇市、三木市、小野市、 三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、

加東市、多可町

第5地区

第4地区

神戸市(垂水区、西区)

第6地区

第7地区

明石市、洲本市、加古川市、高砂市、 南あわじ市、淡路市、稲美町、播磨町

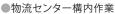
姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、養父市、 朝来市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、 神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、 新温泉町、京都府京丹後市

活動エリアのならびは、全国地方公共団体コード(総務省)順

コープこうべ グループの紹介

🤎 (株)コープムービング







- ●折込チラシセット業務
- ●福祉用具レンタル業務など



●● (株)コープフーズ

- ●すし、惣菜類、 弁当の製造販売
- ●まいくる・中学校 給食などの給食事業



🔼 ㈱協同食品センター

●農産品·水産品・ 畜産品などの 加工、盛り付け、 包装、販売



●●ASSIS 株コープエイシス

- ●各種保険
- ●収納代行
- ●リース
- ●ツーリスト



\,,,, 阪神友愛食品㈱

- ●リサイクルに関する業務
- ●食品の包装業務
- ●知的障がい者の 職業訓練



コープ住宅株

●増改築リフォームの 企画·設計·施工· アフター管理など



●● (株)コープライスセンター

- ●精米業
- ●米の加工・販売



●● ㈱コープ環境サー

- ●ビル保守管理・警備・清掃
- ●店舗検収業務 ●駐車場管理
- ●ホームサービス事業
- ●自然エネルギーを 利用した発電事業など



●● (株)コープベーカリー

- ●インストアベーカリー「小麦の森」の 運営事業
- ●「コープこうべ六甲アイランド 食品工場」の製造部門、 管理部門受託事業



㈱ゆうあいサポート

- ●リサイクルに 関する業務
- ●施設内の 清掃業務



有みずほ協同農園

- ●農産物販売事業
- ●農業体験学習事業
- ●貸農園事業



コープこうべ概要 (2022年3月31日現在)

■名 称 生活協同組合コープこうべ

■設 立 1921年(大正10年)

■所在地 〒658-8555

兵庫県神戸市東灘区住吉本町

1丁目3番19号

■出 資 金 367.8億円

■供給高 2471.0億円

■組合員数 172万5288人

世帯加入率 49.4%※活動区域の世帯数に占める組合員数の割合

■活動区域 兵庫県全域·京都府京丹後市、大阪府北部

(豊中市、箕面市、池田市、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、能勢町、豊能町、島本町、

大阪市淀川3区)

■主な事業 組合員世帯を対象に、商品の生産・

供給事業および教育・学習を行い、 生活文化の向上を図る事業など

■職員数 9632人

■事 業 所 住吉事務所/1カ所

地区本部/8力所

店舗/146店舗

協同購入センター/23事業所 六甲アイランド食品工場/1カ所

アンケートのお願い

今後の報告書づくりの参考にさせていただきますので、 皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。 右の2次元バーコードを読み取って、入力願います。





コープこうべ コミュニケーションレポート2022

編集・発行/生活協同組合コープこうベ ホームページ https://www.kobe.coop.or.jp





